

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児援助論 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	前期	教室名	2年生教室・実習室
担 当 教 員	日下部 麻美	実務経験と その関連資格	看護師として重症心身障がい者病棟・養護学校で勤務していた。		
《授業科目における学習内容》					
<p>小児看護を実践するうえで基本となる看護技術について、知識・技術を学ぶ。</p> <p>1. 小児看護に必要で基本的な看護技術を理解し、習得できる。</p> <p>2. 子どものアセスメントに必要な基本的知識を理解し、必要な技術を習得できる。</p>					
《成績評価の方法と基準》					
<p>定期試験 70%、グループ発表 20%(グループ10%、個人10%)、提出物 10%</p> <p>※詳細は第1回授業で提示します。</p>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
<p>教科書: 系統看護学講座 専門分野 II 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院(臨床総論第1・4章)</p> <p>参考書: 系統看護学講座 専門分野 II 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院</p>					
《授業外における学習方法》					
<p>次回の予習プリントがある場合は、授業の最後に次回の予習プリントを配布しますので、教科書を参考にして空欄を埋めてから授業に臨んでください。</p> <p>グループ発表の準備は各グループで協力して取り組みましょう。個人ワークは計画的に取り組みましょう。</p>					
《履修に当たっての留意点》					
小児看護技術を学ぶ科目です。事例をもとにしたグループ学習と技術演習を行いますので積極的に参加しましょう。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義 授業を 通じての 到達目標	小児看護に必要なコミュニケーションおよび発達段階に応じた遊びについて述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 総論第1・4章 を読む(30分) 事後学習: 発達計画書 を作成・提出する(30分)
	各コマに おける 授業予定	小児看護に必要な看護技術①: 小児看護の基本的技術、コミュニケーション 小児看護に必要な看護技術②: 乳児・幼児期各期における成長発達			
第2回	演習 授業を 通じての 到達目標	乳児・幼児期各期における成長発達発表の準備を進めることができる。		教科書 配布資料 準備に必要な文 房具等	事前学習: 成長発達の 情報収集をする(30~ 60分) 事後学習: 成長発達の 発表準備をする(30~ 60分)
	各コマに おける 授業予定	発表準備(乳児・幼児の成長発達計画・作成)			
第3回	演習 授業を 通じての 到達目標	留意事項をふまえて、乳児・幼児期各期における成長発達発表会に参加することができる。		配布資料 準備に必要な文 房具等 必要時パソコン、 スピーカー	事前学習: 成長発達の 発表準備をする(30~ 60分) 事後学習: 成長発達発 表会の評価をする(30 分)
	各コマに おける 授業予定	グループ発表(乳児・幼児期各期における成長発達発表会)			
第4回	講義 授業を 通じての 到達目標	プレパレーションの意義と概念について述べるができる。 子どものアセスメントに必要な観察法方について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習: 総論第4章を 参考に予習プリントをま とめる(30分) 事後学習: プレパレー ション計画書をまとめる (30分)
	各コマに おける 授業予定	小児看護に必要な看護技術③: プレパレーション			
第5回	演習 授業を 通じての 到達目標	発達段階を考慮したプレパレーション(紙芝居)の作成を進めることができる。		教科書 配布資料 準備に必要な文 房具・色鉛筆等	事前学習: 紙芝居作成 のための情報・素材を収 集する(30分) 事後学習: 紙芝居を作 成する(60~120分)
	各コマに おける 授業予定	幼児・学童期の子どもへのプレパレーションの計画立案 プレパレーション(紙芝居)の作成・発表準備			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達段階を考慮したプレパレーション(紙芝居)の作成およびアセスメントの準備を進めることができる。	教科書 配布資料 準備に必要な文房具・色鉛筆等	事前学習:総論第4章を参考に、バイタルサイン測定・身体測定の手順を学習する(60~120分) 事後学習:演習・発表ができるように準備する(30~60分)
		各コマにおける授業予定	グループ発表(プレパレーション) 子どものアセスメント:アセスメントに必要な技術、バイタルサイン、身体測定、身体的アセスメント		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	発達段階を考慮したプレパレーション(紙芝居)およびアセスメントの実施をすることができる。	教科書 配布資料 バイタルサイン測定・身体測定に必要な物品	事前学習:演習・発表ができるように準備する(30~60分) 事後学習:ワークシートを完成させ、提出する(30~60分)
		各コマにおける授業予定	幼児期・学童期の子どもを対象にした演習(バイタルサイン測定・身体測定・身体的アセスメント)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	新生児期に必要なアセスメント技法について述べることができる。	教科書 配布資料 バイタルサイン測定・身体測定に必要な物品	事前学習:総論第4章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:ワークシートを完成させ、提出する(30~60分)
		各コマにおける授業予定	新生児期の子どもを対象にした演習(バイタルサイン測定・身体測定・身体的アセスメント)		